

雪遊びで広がる歓声 とうや冬まつり

第39回とうや冬まつりが、とうや水の駅ふれあい広場で行われました。

例年、子どもたちに大人気の雪の滑り台は今回も大にぎわい。そりを手に列をつくった子どもたちは、自分の順番が来ると勢いよく斜面を滑り降り、顔をほころばせていました。

宝探しや〇×クイズにも多くの参加があり、会場では笑い声が絶えませんでした。



1



2



3



4

1・例年大人気の雪の滑り台 2・雪中宝探し 3・〇×クイズ 4・無料で振舞われた豚汁

「虻田のホタぼう」審査員特別賞受賞！

虻田高校(千葉佳貴校長)の2年生前田ゆなさんと高橋佑奈さんが、高校生に地域課題の解決策などを考えてもらう「探究チャレンジ胆振・日高(北海道教育委員会主催)」で審査員特別賞を受賞しました。

前田さんと高橋さんは11月に同校の探究成果発表会で、町内の洋菓子店「パティスリー・ヴィオレット(尾崎澄斗オーナーシェフ)」とコラボしレシピを考案したパウンドケーキ「虻田のホタぼう」を紹介。町を代表する新しいお土産を作りたいという思いから、尾崎さんの協力の下、町の名産品であるホタテとごぼうを主な材料として、何度も試作を重ねてレシピを完成させました。その結果、発表会では最優秀賞を受賞。12月には同店で限定販売も行いました。

その後、1月10日に行われた探究チャレンジ胆振・日高に参加し、町が抱える課題や解決策、レシピ考案までの努力や思いを伝え、参加する23校の中から見事、審査員特別賞を受賞しました。2人は「まさか選ばれるとは思わなかったです。これからもホタぼうを通して町の魅力を伝えたいです」と喜びを語りました。「虻田のホタぼう」は洞爺湖マラソンなどのイベントでの販売も検討しています。



「虻田のホタぼう」を考案した前田さん(左)と高橋さん